

## 英語科の分析と改善策

### 1年

#### ① 分析

項目	分析
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業に集中している」という質問に、125名中「そう思う」という回答が76名、「ややそう思う」という回答が45名で、ほぼ全員が集中して取り組んでいる。</li> <li>・「授業に意欲的に取り組んでいる」という質問に、125名中「そう思う」という回答が78名、「ややそう思う」という回答が37名で、9割以上の生徒が意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・「持ち物や宿題を忘れずに授業を受けた」という質問に、125名中「そう思う」という回答が64名、「ややそう思う」という回答が48名で、約9割の生徒が授業の準備が概ねできている。</li> <li>・「授業で興味のある内容があった」という質問に、125名中「そう思う」「ややそう思う」と回答した生徒が102名、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答した生徒が23名で、約2割の生徒が授業の内容にあまり興味をもてていない。</li> </ul>
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「3カ月前より英語で自分の考えを伝えられるようになってきている」という質問に、125名中「そう思う」「ややそう思う」という回答が113名で、約9割の生徒が英語で自己表現ができるようになってきていると感じている。</li> <li>・ペアでの言語活動にはどの生徒も積極的に取り組んでいる。</li> <li>・教科書を表現豊かに読める生徒も多くいる。</li> <li>・ジェスチャーを交えてスピーチの発表ができる生徒がまだ少ない。</li> </ul>
理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「3カ月前よりも英語に慣れてきている」という質問に、125名中「そう思う」「ややそう思う」という回答が115名で、約9割の生徒が英語に慣れてきていると感じている。</li> <li>・英語を聞いて理解する能力については、ゆっくり読まれた英文はだいたい理解できるが、英文が速く読まれると、理解できなくなってしまう生徒が多い。</li> <li>・英語を読んで理解する能力については、ほとんどの生徒が現在学習している英文の内容を理解できる。</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語や英文を書くことが苦手な生徒がいる。</li> <li>・単語が全く読めない生徒はほとんどいない。</li> <li>・新しい文法事項を学習する時、多くの生徒は日本語の意味に合わせて単語を並べかえたり、疑問文や否定文を作ることができるようになるなど、理解することができる。また、その文法事項を使って、自分のことや自分の身の回りのことについて、英文を書くことができる。</li> <li>・学習した文法事項が定着していない生徒がいる。</li> </ul>

#### ②具体的な改善策及び生徒の活動や発表力を身に付けさせるための工夫

##### <関心・意欲・態度>

- ・全員が積極的に授業に参加するために、ペアワークやグループ学習、口頭での言語活動も取り入れて、楽しくお互いに教え合える関係作り、環境作りを行う。
- ・理解度の低い生徒をサポートするために、放課後の再テストや夏休みの補充教室を行い、意欲をもたせる。
- ・できるだけ多くの生徒が授業の内容に興味をもてるように、生徒の視点に立った教材研究を心

がける。

- ・文字を書くことや読むことに対して苦手意識がある生徒がいるので、授業の導入で英語の歌などの音声を用いた教材をできるだけ使用する。

#### <表現の能力>

- ・新しい表現を身に付けさせるために、新しく文法を学習するときに、必ずその文法を使った表現活動を取り入れる。
- ・表現豊かに英語を話せるようにするために、普段の教科書のリーディングから表現豊かに読むように指導する。
- ・スピーチやスキットの発表の活動を通して、クラスで自分の言いたいことが英語で表現する力を付けさせるとともに、生徒たちがお互いに刺激し合える場を設ける。

#### <理解の能力>

- ・文法事項等を説明する時以外は、できるだけ英語で授業を行い、意味を推測しながら英文を聞く習慣を身に付けさせる。
- ・できるだけ速いスピードで英語を聞かせる、読ませる。毎回の授業でリーディングを行う。
- ・英文を読む力を付けさせるために、授業中に英文をじっくり読み、内容について考える時間を設ける。また、できるだけ多くの英文を読ませる。

#### <知識・理解>

- ・文字を書くことに対して抵抗がある生徒がいるので、新しい文法事項を学習するときは、音声をを用いた導入を多くする。
- ・新しい文法を学習する時は、要点をまとめたプリントを作成し、問題練習にじっくり取り組ませる時間を設けて、授業内で個別に指導できる時間を作る。
- ・単語が書けるようになるために、スペリングコンテストに取り組ませ、不合格の生徒には再テストを行い、根気強く指導を行う。

## 2年

### ① 分析

項目	分析
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に意欲をもって取り組む生徒が多く、話をよく聞き、理解しようと努めている。</li> <li>・インタビューやインフォメーションギャップなどのコミュニケーション活動は好きな生徒が多い。</li> <li>・コミュニケーション活動の基礎となる語彙・表現を身に付けるための宿題・課題は比較的忘れずにやってくる。</li> <li>・宿題を多いと感じている生徒がいる。</li> </ul>
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例文を参考にして自分のことを書いたり、話したりすることはできるが、少し前に習ったことはなかなか表現できていない。</li> <li>・英語には慣れてきており、口頭での英語の質問にはほぼ答えられる。</li> </ul>
理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスニングには抵抗なく取り組み、細かな点がわからなくてもだいたいの内容を聞き取ることができる。</li> <li>・会話文の読み取りはできるが、説明文や少し長い英文には抵抗を感じる生徒がいる。</li> <li>・9割の生徒が現時点の授業の説明で理解できている。</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の内容は8割の生徒が、だいたい理解している。</li> <li>・授業進度は9割程度の生徒がちょうどよいと感じている。</li> <li>・新出文型はよく覚えるが、既習事項が定着していないために間違えることが多い。</li> </ul>

### ② 具体的な改善策及び生徒の活動や発表力を身に付けさせるための工夫

#### <関心・意欲・態度>

- ・既習表現・既習文法を毎回音読できるような英文リストを作り、毎授業の初めに短時間でも音読・暗唱させる。
- ・対話によるコミュニケーション活動では「英語だけで話す」「アイコンタクトを意識して話す」「発音・抑揚に気をつけて話す」ことを徹底させる。
- ・宿題をしてきたことを前提にした発問を増やし、家庭学習が力になることを実感させる。

#### <表現の能力>

- ・新出・既習文法を用いた『自己表現』のワークシートを継続して書かせていく。
- ・スピーチやスキットの発表の機会を設け、互いに「どうしたら伝わりやすいか」を学び合わせる。
- ・新出文型を理解・定着させるために英文音読練習を継続し、文型が自然に身に付くようにする。

#### <理解の能力>

- ・毎回の授業でリスニングの活動を行い、意味を推測しながら聞き取る訓練をする。
- ・英文をまず自分で読ませ、内容を推測させてから解説・読解指導をする。

#### <知識・理解>

- ・語彙力の強化のため、毎学期スペリングコンテストに取り組ませ、不合格の生徒には再テストや練習課題を課す。
- ・単語・教科書の本文などを音読しながら書く、というような誰にでもできる単純な宿題を

継続して課し、『英語に慣れる』ようにする。

- 新出文型学習時に必ず筆記練習のワークシートに取り組ませる。
- 単元ごとにまとめのワークシートを作成し、問題に慣れさせる。

① 分析

項目	分析
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に取り組む生徒が多く、授業に活気がある。発言も多い。</li> <li>・ほとんどの生徒が期限を守って提出物を出そうとしており、家庭学習にもよく取り組む。しかし一部、課題の量について行けずあきらめてしまっている生徒もいる。</li> <li>・アンケートの結果、授業の進度が速いと感じている生徒もいる。</li> </ul>
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアでの言語活動にはどの生徒も積極的に取り組んでいる。</li> <li>・ほとんどの生徒が基礎的な文型を使って口頭で自己表現できるが、書く方は生徒によって差があり、正しくスペリングできない生徒もいる。</li> </ul>
理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を聞いて理解する能力については、ゆっくり読まれた英文はだいたい理解できるが、英文が速く読まれると、理解できなくなってしまう生徒が多い。</li> <li>・英語を読んで理解する能力については、短文は理解できるが、長文となると苦手意識をもつ生徒も多い。</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語を書くことが苦手な生徒がいる。</li> <li>・単語が全く読めない生徒はほとんどいない。</li> <li>・文のしくみについて理解できていない生徒もいる。</li> </ul>

②具体的な改善策及び生徒の活動や発表力を身に付けさせるための工夫

<関心・意欲・態度>

- ・ペアワークやグループ学習、口頭での言語活動も取り入れて、楽しくお互いに教え合える関係作り、環境作りを行う。
- ・再テストや補習を行うことにより、理解度の低い生徒をサポートし、意欲をもたせる。
- ・宿題や提出物の指導を徹底して行う。各生徒の理解度に応じて課題の内容を配慮する。
- ・定期考査の結果を自己分析し、英語の授業やテストの取り組みについての反省と改善策を考えさせる。
- ・授業の進度を押さえ、文法理解の説明を増やしていく。

<表現の能力>

- ・新しく文法を学習するときは、必ずその文法を使った表現活動を取り入れ、自主的に書くことを奨励していく。
- ・スピーチやスキットの発表の活動を通して、クラスで自分の言いたいことが英語で言える力を付けさせるとともに、生徒たちがお互いに刺激し合える場を設ける。

<理解の能力>

- ・できるだけ速いスピードで英語を聞かせる、読ませる。毎回の授業でリーディングを行う。
- ・毎回の授業でリスニングの活動を行う。
- ・意味を推測しながら英文を聞かせる、読ませる。

<知識・理解>

- ・語彙力の強化のため、スペリングコンテストや単語テストに取り組みせ、不合格の生徒には再テストを行い、根気強く指導を行う。
- ・新しい文法を学習する時は、要点をまとめたプリントを作成し、問題練習にじっくり取り組ませる時間を設けて、授業内で個別に指導できる時間を作る。